



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4999 URL <http://www.cemedine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天知 秀介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 飯田 秋彦 TEL 03-6421-7412
 四半期報告書提出予定日 2022年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	21,301	13.4	1,723	99.3	1,719	100.5	1,242	103.0
2021年3月期第3四半期	18,787	△10.0	864	△3.6	857	1.1	611	5.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,293百万円 (93.3%) 2021年3月期第3四半期 669百万円 (△4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	82.82	82.14
2021年3月期第3四半期	40.85	40.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,096	14,632	58.7
2021年3月期	22,515	13,497	57.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 14,135百万円 2021年3月期 13,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,430	10.4	1,800	18.3	1,770	16.6	1,270	19.4	84.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	15,167,000株	2021年3月期	15,167,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	159,465株	2021年3月期	187,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	14,999,709株	2021年3月期3Q	14,979,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第2四半期まで新型コロナウイルス感染症による影響を強く受けましたが、その後はワクチン接種の普及に伴い新規感染者数が減少し回復の動きがみられました。しかしながら、新たな変異ウイルスの出現に伴い足元では感染が再拡大しており、先行きへの影響が懸念されます。

また世界経済は米国を中心に回復が続いたものの、世界的な物流の混乱や資源価格の高騰、変異ウイルスのまん延などにより先行き不透明な状況となっております。

当社グループ関連業界については、建築土木関連業界では新設住宅着工戸数の回復が続いており、工業関連業界では、デジタルデバイス製品の需要は引き続き旺盛ですが、世界的な半導体不足による影響が自動車メーカー各社の減産に繋がっております。また一般消費者関連業界では、新型コロナウイルス感染症の拡大による巣籠もり消費が一巡し消費行動の伸びに鈍化が見られます。

このような状況のもと当社グループでは、感染防止対策を講じつつ製品の安定供給に努めたほか、継続的なコスト改善による競争力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,301百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は1,723百万円（前年同四半期比99.3%増）、経常利益は1,719百万円（前年同四半期比100.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,242百万円（前年同四半期比103.0%増）となりました。

売上状況につきましては次のとおりであります。

なお、セグメントごとの業績につきましては、当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであるため、売上状況を内部管理上の区分である市場別に区分して記載しております。

① 建築土木関連市場

新設住宅着工戸数の回復に伴い戸建て住宅向け外装用シーリング材が堅調に推移したほか、「セメダインタイルエースシリーズ」の売上が増加したこともあり、売上高は9,516百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

② 工業関連市場

半導体不足に伴う自動車メーカー各社の減産により自動車向けの売上は第2四半期までに比べ回復ペースが鈍化しましたが、ノートパソコンやタブレットなどのデジタルデバイス製品の旺盛な需要により電機・電子部品関連向けの売上が堅調に推移したことから、売上高は7,871百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

③ 一般消費者関連市場

耐久性に優れ水にも強い瞬間接着剤「セメダイン3000耐水・耐衝撃」や環境配慮型の超多用途接着剤「セメダインスーパーXナチュラ」などの新製品を発売し拡販に努めてまいりましたが、前年の巣籠もり需要の反動もありホームセンター向けの売上が減少したことから、売上高は3,813百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

④ その他

その他の売上は不動産賃貸収入であります。賃貸収入は99百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度と比較し1,580百万円増加し、24,096百万円となりました。これは主に、現預金が242百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が389百万円減少したこと、電子記録債権が1,145百万円増加したこと、商品及び製品が168百万円増加したこと、及び原材料及び貯蔵品が364百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度と比較し445百万円増加し、9,464百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が307百万円増加したこと、電子記録債務が416百万円増加したこと、未払法人税等が113百万円減少したこと、及び賞与引当金が164百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度と比較し1,135百万円増加し、14,632百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,092百万円増加したこと、為替換算調整勘定が23百万円増加したこと、及び非支配株主持分が19百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は通期業績予想に対し堅調に推移しております。

当第4四半期連結会計期間の業績見通しについては、原材料価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響により極めて不透明な状況にありますが、その影響について合理的に見積もることが困難であることから、現時点では2021年5月13日に発表いたしました通期連結業績予測を修正しておりません。今後業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,987,114	6,230,088
受取手形及び売掛金	6,615,003	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	6,225,584
電子記録債権	1,334,281	2,479,459
商品及び製品	1,930,357	2,099,233
仕掛品	209,672	191,808
原材料及び貯蔵品	755,356	1,120,024
その他	170,744	228,899
貸倒引当金	△16,537	△17,962
流動資産合計	16,985,991	18,557,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,927,741	1,961,869
その他(純額)	2,113,122	2,152,973
有形固定資産合計	4,040,864	4,114,843
無形固定資産		
のれん	39,582	26,580
その他	182,556	202,592
無形固定資産合計	222,138	229,172
投資その他の資産		
投資有価証券	734,093	719,275
その他	509,918	462,789
貸倒引当金	△1,930	△1,884
投資その他の資産合計	1,242,082	1,180,179
固定資産合計	5,505,085	5,524,196
繰延資産	24,845	15,467
資産合計	22,515,923	24,096,798
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,120,431	4,428,328
電子記録債務	1,842,389	2,259,378
未払法人税等	293,569	179,600
賞与引当金	365,661	201,649
その他	1,008,933	1,059,209
流動負債合計	7,630,985	8,128,166
固定負債		
退職給付に係る負債	952,967	962,521
その他	434,425	373,411
固定負債合計	1,387,393	1,335,932
負債合計	9,018,378	9,464,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,588,157	2,598,416
利益剰余金	7,261,566	8,353,916
自己株式	△61,267	△52,147
株主資本合計	12,838,831	13,950,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,424	111,729
為替換算調整勘定	44,463	67,597
退職給付に係る調整累計額	6,540	5,348
その他の包括利益累計額合計	171,428	184,676
新株予約権	69,622	60,454
非支配株主持分	417,663	437,006
純資産合計	13,497,545	14,632,698
負債純資産合計	22,515,923	24,096,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	18,787,395	21,301,102
売上原価	13,484,677	14,869,599
売上総利益	5,302,717	6,431,503
販売費及び一般管理費	4,438,103	4,708,468
営業利益	864,614	1,723,034
営業外収益		
受取利息	1,336	1,159
受取配当金	22,611	23,975
持分法による投資利益	2,048	7,601
為替差益	—	12,426
その他	33,443	20,768
営業外収益合計	59,441	65,931
営業外費用		
支払利息	49	24
売上割引	40,160	42,873
為替差損	4,249	—
支払補償費	12,195	10,542
その他	10,039	16,277
営業外費用合計	66,694	69,717
経常利益	857,361	1,719,248
特別利益		
固定資産売却益	10	1,490
雇用調整助成金	24,975	—
出資金清算益	15,880	—
特別利益合計	40,865	1,490
特別損失		
固定資産除売却損	4,089	13,015
休業手当	30,330	—
特別損失合計	34,419	13,015
税金等調整前四半期純利益	863,807	1,707,723
法人税等	226,994	436,663
四半期純利益	636,812	1,271,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,900	28,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	611,911	1,242,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	636,812	1,271,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,390	△8,694
為替換算調整勘定	△40,427	34,670
退職給付に係る調整額	3,759	△1,192
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,435	△2,657
その他の包括利益合計	32,286	22,126
四半期包括利益	669,099	1,293,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	661,907	1,255,533
非支配株主に係る四半期包括利益	7,192	37,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これにより、一部のライセンスの供与に係る収益について、従来は、入金時に収益を認識する方法によっていましたが、ライセンスを顧客に供与する際の約束の性質が、ライセンス期間にわたり知的財産にアクセスする権利である場合は、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであるため、記載を省略しております。